

「2019年度入学生アンケート」調査報告

1. 調査の目的

本学では、入学者の受験動向や進学動機、オープンキャンパスの参加状況等を把握するため、2005年度より毎年4月に新入生を対象とするアンケート調査を実施してきた。本調査は、異なる動機や入試形態で入学してきた新入生たちが本学にどのようなことを期待しているのか、また、本学は受験生に対して効果的な広報活動ができているのかをデータによって検討し、得られた知見を、本学の教育改善および今後の広報活動に役立てることを目的として実施するものである。

2. 調査の概要

本調査は、2017年度までは入試広報部が4月上旬の新入生オリエンテーション期間中に実施してきた。2018年度は諸事情により実施されず、2019年度からは入試広報部とI Rセンターが共同の調査主体となったことにより、調査項目の見直しが図られるとともに、調査時期や実施方法も変更されている。

オリエンテーション期間中に各学科に実施を委ねる2017年度までの方法を改め、回収率を確保するため、1年次の必修科目である「人間論」の初回授業日に調査実施日を設定した。授業担当教員の協力を得て、授業開始前に出席学生全員にアンケート用紙を配布し、10分程度で回答してもらい、回答後に用紙を回収するという方法をとることで、正規の授業時間を大きく損ねることなくスムーズに実施することができた。

3. 調査主体

本調査は、入試広報部とI Rセンターが共同で実施するものである。

4. 調査対象

1年次必修科目「人間論」の初回授業に出席した1年生全員を対象としている。

5. 調査時期

2019年度の調査実施日は4月11日（木）である。人間生活学部は5・6時限、文学部は7・8時限に実施した。

6. 調査方法

無記名式のアンケート用紙を授業出席学生全員に配布・回収する集合調査の方法で実施した。

7. 調査内容

授業開始前に配布・回答・回収をおこなわなければならないため、10分以内で回答できるよう

A4用紙1枚（両面印刷で2ページ）に収まる分量に質問項目を絞っている。主な質問項目は、所属学科、入学手続きをした入学試験の区分、出身高等学校の都道府県、高校生のときに大学で学びたいと思っていた学問分野、大学受験時に参考にした媒体や相談した相手、本学に入学しようと思った理由、学科で学びたい内容、本学の志望順位、本学以外に受験・志望した大学名、大学卒業後の進路、オープンキャンパスの参加状況などである。また、アンケート用紙の末尾には入学後の本学の印象や大学への要望を自由に記述してもらい欄を設けている。入学から10日程度しか経っていないにもかかわらず、多くの新生が印象や要望を記入しており、本報告ではこれらの記述内容について言及することはできないが、入学直後の率直な意見として貴重な質的データとなっている。

8. 回収結果

「人間論」に出席した全学生516名から回答を得ることができた。これは、2019年度入学生526名のうちの98.1%にあたる。表1は、回答者の学科別内訳および「人間論」の出席率を示したものである。必修科目の初回授業時に調査を実施したことで、どの学科も非常に高い回答率となっている。

表1 学科別回答者数および「人間論」出席率

	英語英文 学科	日本語日 本文学科	現代社会 学科	人間生活 学科	児童学科	食品栄養 学科	全体
在籍者数	85	70	77	81	128	85	526
回答者数	82	70	77	79	124	84	516
「人間論」出席率	96.5%	100.0%	100.0%	97.5%	96.9%	98.8%	98.1%

9. 出身高等学校の都道府県

2019年度入学生の出身高等学校の都道府県別では、岡山県からの入学者が全体の8割を超え、香川県が1割弱、次いで広島県、愛媛県の順となっている（表2）。この比率は在学生とほぼ同じである。

なお、「その他」22名の回答は、京都府、島根県（以上4名）、鳥取県（3名）、山口県、高知県（以上2名）、宮城県、長野県、福井県、和歌山県、熊本県、大分県、長崎県（以上1名）である。

表2 新生の出身高等学校都道府県

出身高校都道府県	度数（%）
岡山県	416（80.6）
香川県	50（9.7）
広島県	12（2.3）
愛媛県	9（1.7）
兵庫県	5（1.0）
その他	22（4.3）
無回答	2（0.4）
計	516（100.0）

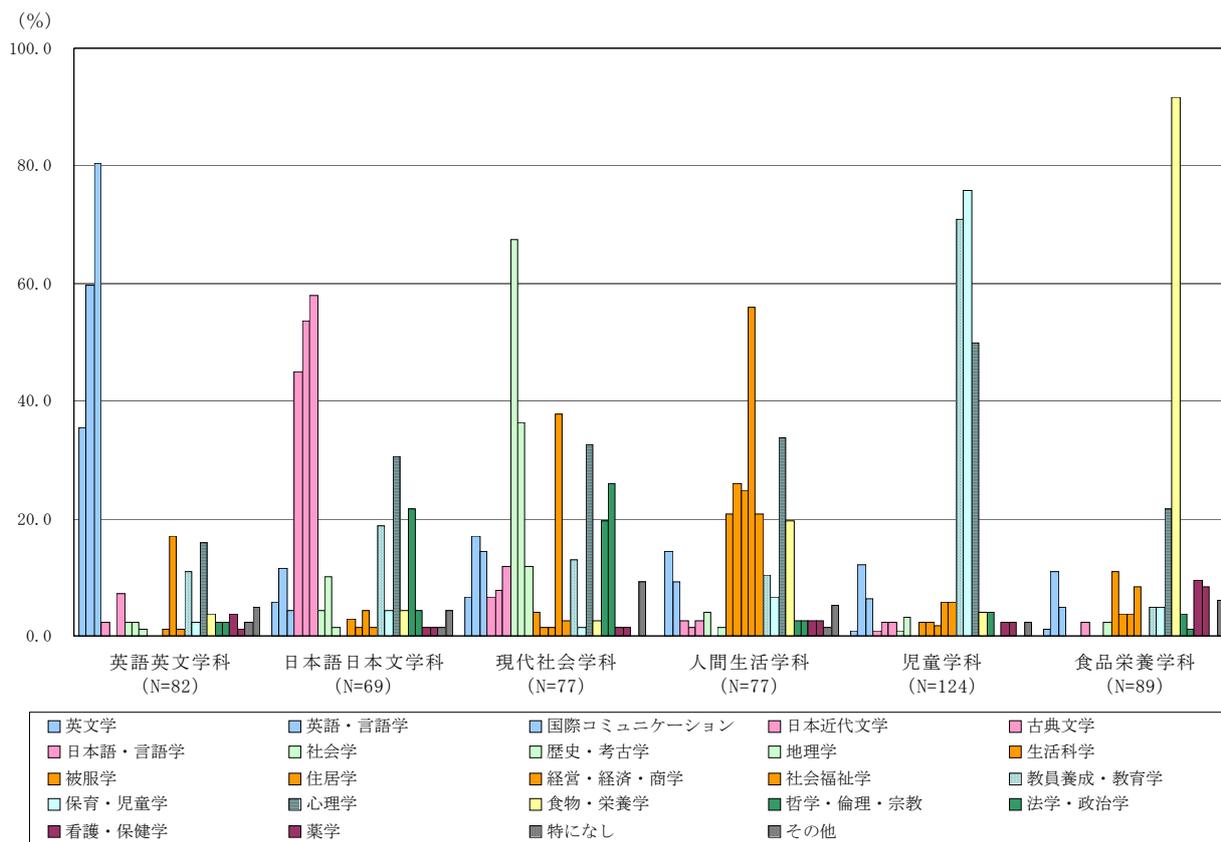
10. 高校生のときに大学で学びたいと思っていた学問分野

高校生のとき大学で学びたいと思っていた学問分野を学科別に集計したものが図1である。英語英文学科は「英文学」「英語・言語学」「国際コミュニケーション」(棒グラフの青色で示したもの)を学びたいと思っていた者が多く、日本語日本文学科では「日本近代文学」「古典文学」「日本語・言語学」(ピンク色)、現代社会学科では「社会学」「歴史・考古学」「地理学」(黄緑色)、人間生活学科では「生活科学」「被服学」「住居学」「経営・経済・商学」「社会福祉学」(オレンジ色)が多いというように、高校生のときに学びたいと思っていた学問分野と、本学入学後に各学科で学べる学問分野はおおむね一致しているといえる。

免許・資格の取得をカリキュラムの特徴とする児童学科や食品栄養学科では、この傾向はより顕著である。児童学科は「教員養成・教育学」「保育・児童学」「心理学」(水色)が、食品栄養学科は「食品・栄養学」(黄色)が、他のさまざまな学問領域と比べて突出して多くなっている。学科で学ぶ目的を明確に持って入学してくる学生が、この2学科には多いということであろう。

さらに、日本語日本文学科や現代社会学科では「哲学・倫理・宗教」「法学・政治学」(緑色)も多く、また現代社会学科では「経営・経済・商学」を学びたかったという者も多い。

図1 学科別にみた高校生のとき大学で学びたいと思っていた学問分野 (あてはまるもの全て)



註) 24 の学問分野の選択肢から、高校生のとき大学で学びたいと思っていた学問分野として「あてはまるもの全て」を選んでもらっており、学科の度数 (N) に占める回答数の比率をここでは示している。

なお「心理学」(水色の斜線)については、児童学科だけでなく、英語英文学科から人間生活学科までの4学科でも1~2割程度の学生が学びたいと思っていることがわかる。学科における専門

的な学びとしてではなく、大学でぜひ学んでみたい学問としての心理学の人気のうかがえる。さらに「教員養成・教育学」（水色の横線）も児童学科以外の各学科で1～3割程度の者が関心を持っているが、これは教職免許の取得を視野に入れている層であると思われる。

図1からは、入学生たちが各学科のカリキュラム内容をよく理解したうえで、自分の学科を選ぶことができているということができらるだろう。ここではデータは示さないが、志望度別に集計すると、本学を第一志望とした学生たちの学科と学問分野の一致度はさらに高まる。近年、大学退学者数の増加が指摘されるなか、大学での教育内容と学生が学びたかったこととのミスマッチが理由の一つとして挙げられているが、本学の退学率の低さは、このミスマッチの少なさも一因となっていることが考えられる¹⁾。

1 1. 大学受験時に参考にした情報媒体・相談した相手

受験生たちは大学受験に際して、どのような情報を参考にして志望を決定しているのだろうか。ここでは、(1) 情報媒体、(2) 影響を受けた相談相手に分けてデータをみていく。

(1) 大学受験時に参考にした情報媒体

表3は、「大学を受験する上で参考にしたもの」として、13の選択肢から第5位までを選んでもらった回答の集計結果である。「オープンキャンパス」「大学案内」「大学ホームページ」が上位の3媒体となっている

表3 大学を受験する上で参考にしたもの（第5位まで）

	1位	2位	3位	4位	5位	計
大学案内	109	88	79	51	27	354
大学ホームページ	62	131	115	55	26	389
オープンキャンパス	192	102	54	20	5	373
大学から送付された資料	43	61	69	64	30	267
受験情報誌	5	8	11	25	56	105
受験情報 Web サイト	22	21	30	44	51	168
フェイスブックやツイッター等の SNS	0	2	3	5	19	29
テレビ CM	0	1	1	6	7	15
駅の看板、電車・バスのポスター	1	1	0	1	4	7
複数の大学等が集まる進学説明会	3	8	8	7	6	32
高校での進学説明会	22	11	14	13	21	81
高校に置いてある資料	19	26	43	47	44	179
その他	22	9	3	2	4	40

SNS やテレビ CM、駅や電車・バスの広告は、ほとんど参考にされていない。SNS に関しては、今後は大学が主体となり有効な広報活動の媒体としていくことを検討してもよいのではないかと。一方、テレビ CM や公共空間での広告は広報できる内容が限られており、各学科の特色や学びの内容などの詳細な情報を発信することはできない。例えば岡山県内では本学のブランドイメージの発信や新設した点をアピールするための広報に特化させ、本学の知名度が相対的に低い地域で

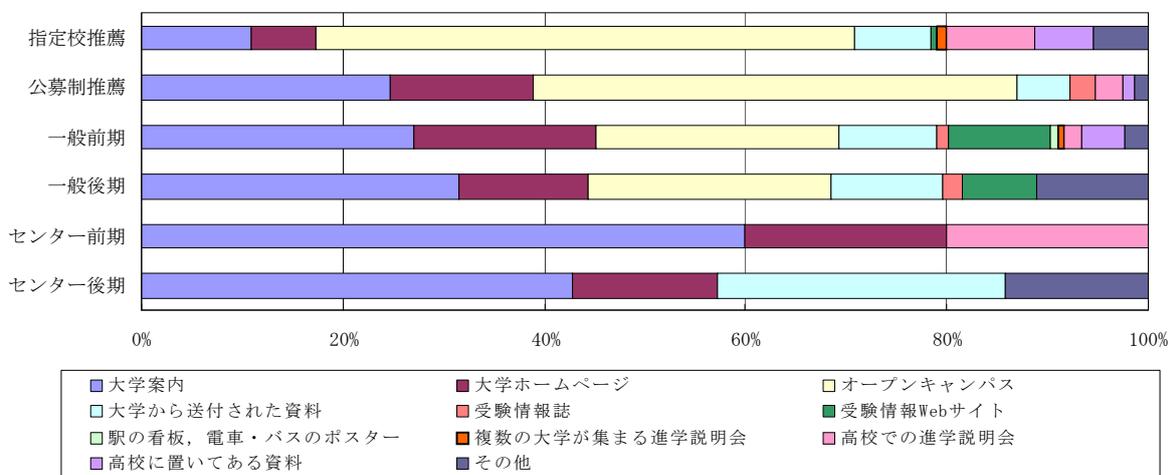
¹⁾ 中国・四国地区の私立大学平均退学率が2.5%であるのに対し、本学は0.7%である（朝日新聞社『AERA ムック大学ランキング2020』より）。また、文部科学省の2014年の発表では、平成24年度の大学（短大・高専を含む）1162校の退学率は2.65%である。

は知名度アップを図るといったように目的を絞り、より効果的に情報を発信していくことが必要となろう。

また、オープンキャンパスと並んで受験生に直接PRできる場である複数の大学が集まる進学説明会も、時間や人員等のコストの割には参考にしたもの選ばれていない。今後は開催時期や日程、参加高校等の内容を吟味し、見直しを検討することも必要であろう。

次の図2は、大学受験時に参考にした第1位のものを、入学手続きをした入試区分別に示したものである。上位3媒体のうちでも、推薦入試による入学者はオープンキャンパスを最も参考にしているのに対し、一般入試の入学者では大学案内とオープンキャンパスがほぼ同率となる。センター利用入試の入学者は大学案内と大学ホームページを主な情報源としており、オープンキャンパスはほとんど参考にしていない。

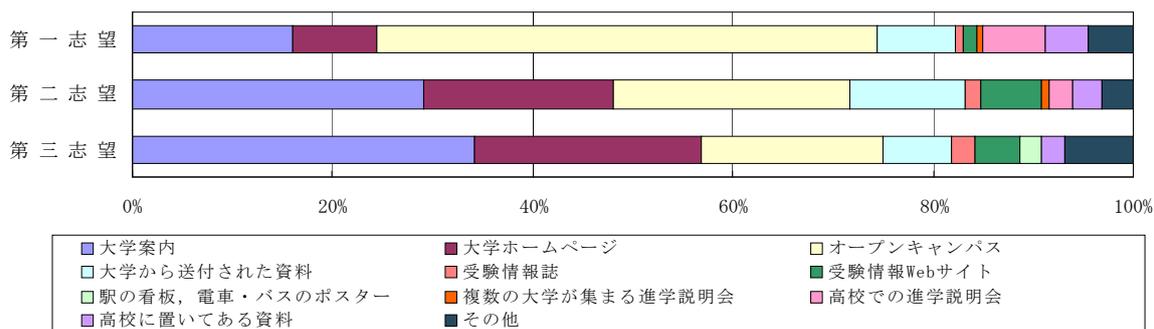
図2 入試区分別にみた受験時に参考にした情報媒体（第1位）



註) 指定校推薦は、姉妹校・カトリック校推薦を含む。以下の図表においても同様である。

この図2と関連して、参考にした情報媒体を志望順位別にみたものが図3である。志望順位が高い者ほどオープンキャンパスを参考にしたと回答しており、志望順位が低くなると大学案内や大学ホームページを参考にした比率が高まる。このデータからオープンキャンパスの参加と本学志望との間の因果関係を確認することはできないが、高い志望順位で本学に入学してきた学生は、オープンキャンパスに参加したうえで、本学の志望を決めたということはいえるであろう。

図3 志望順位別にみた受験時に参考にした情報媒体（第1位）



以上のことから、入試広報における今後の課題として2点を挙げる事ができる。第一に、一般入試を受験する層のオープンキャンパスへの参加率を高める工夫をすることである。この層をオープンキャンパスに取り込み、学力の高い受験生に「清心に入学してもいい」と思ってもらえるよう努力しなければならない。そして、本学の雰囲気や各学科の学びの特色等を理解したうえで受験してもらうことで、入学後のミスマッチや不本意入学者を減らすこともできるであろう。第二点目は、紙媒体とそれ以外の媒体との発信内容の棲み分けである。センター利用入試の受験生がオープンキャンパスに来ないのは仕方がない。しかし彼女たちは大学案内や大学ホームページ、大学が高校に送付した資料は参考にしてしているわけである。これらの媒体と発信情報が重複するものをいくら作っても効果は少ない。センター利用入試の受験生や、遠方のためオープンキャンパスに何度も足を運べないような受験生にとって、紙媒体では発信されない本学の情報に接触する機会を増やすことができれば、より参考にしてもらえるのではないだろうか。

(2) 大学受験時に相談した相手

「大学を受験する上で、誰に相談しましたか」という質問に対して、影響を受けた順に第3位までの回答を集計したものが表4である。受験にあたって最も影響を与えている相談相手は母親であり、全体の57.2%が第1位に「母親」と回答している。次いで高校の先生(22.7%)、父親(5.6%)、塾の先生(5.6%)の順となっている。

表4 大学を受験する上で相談した相手(第3位まで)

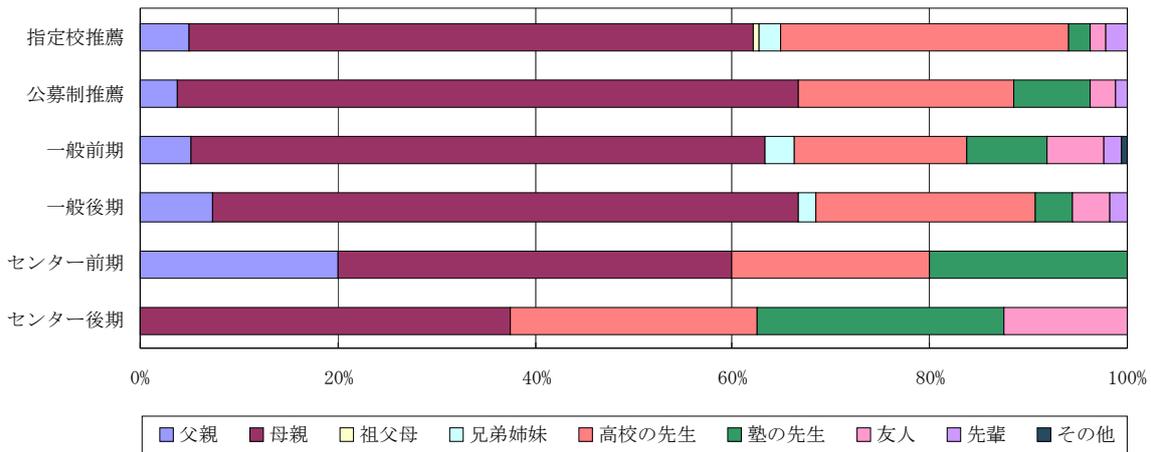
	1位	2位	3位	計
父親	29	95	60	184
母親	295	128	41	464
祖父母	1	5	17	23
兄弟姉妹	10	19	40	69
高校の先生	117	180	121	418
塾の先生	29	26	56	111
友人	18	35	94	147
先輩	9	9	22	40
その他	1	2	2	5

入試区分別にみてもこの傾向は大きく変わらない。ただし、指定校入試では高校の先生と相談する比率が高く、またセンター利用入試では塾の先生と相談する人も多い(図4)。

実際に、先の表3に示した「大学を受験する上で参考にしたもの」の「その他」の記述には、「先生の助言」「先輩の話から」などとともに、「親」「家族」「姉」「清心に在学中のいところ」といった言葉が並ぶ。家族、とりわけ母親の助言が、志望や受験の決定に大きく影響していることは疑いない。

本学は2018年度より、オープンキャンパスにおいても保護者対象の説明会を開催しているが、多くの来場者の中で高校生と同伴で来学するのは母親が多く、母親の受験校選びに対する熱心さがうかがえる。本学が受験生から選ばれることはもちろんであるが、母親から「娘を入学させたい大学」として選ばれることも重要になってくるといえる。

図4 入試区分別にみた受験時に相談した相手（第1位）



現在、受験生の保護者と本学との接点は主にオープンキャンパスであるが、例えば本学の附属幼稚園・小学校の保護者も潜在的な「受験生の保護者」とみなすことができる。本学の敷地内に併設される幼稚園・小学校では、毎日の園児の送迎や学校行事等で保護者が本学や本学学生に接する機会が多くある。附属幼稚園や小学校の保護者（特に母親）に本学の魅力を伝えることが、将来的に「母親に選ばれる大学」となるための戦略となりうるであろう。もちろん、このような戦略は本学が単独でおこなうのではなく、附属幼稚園・小学校・高等学校とともに学園が一体となって取り組まなければ大きな効果は期待できない。母親に選ばれる幼稚園、小学校、高等学校であってこそ、母親に選ばれる大学になりうるともいえる。

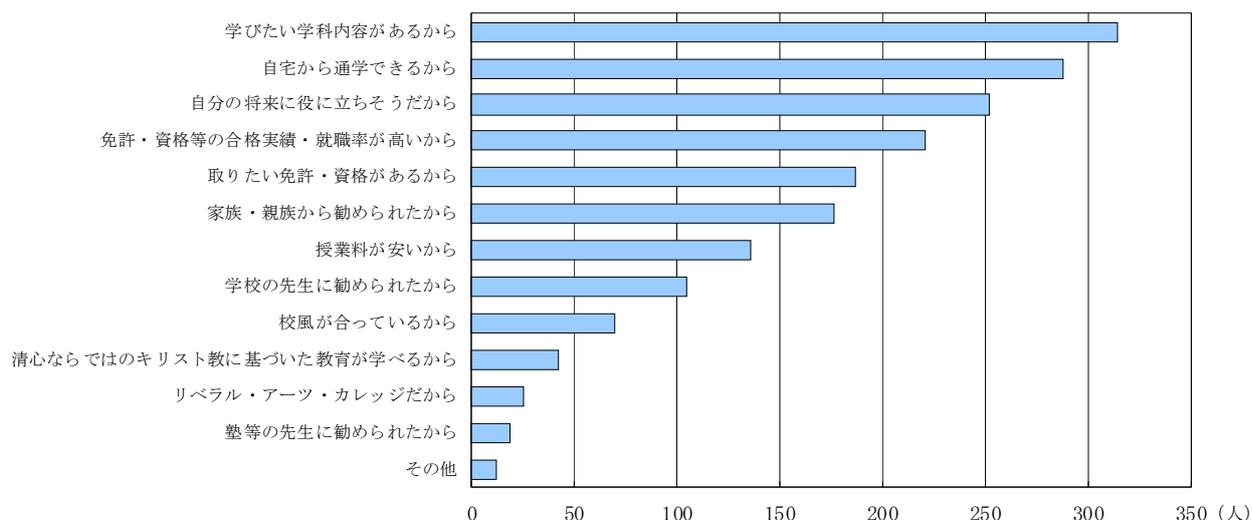
さらには、本学の受験生予備軍は附属校の園児・児童に限らない。「娘（孫）を入学させたい大学」として選ばれるための情報発信は、地域に向けてもなされるべきである。大学祭や地域の行事等を通じて、本学学生と地域の人びとが接する機会を作る試みも検討されてよいのではないかと。先に触れた記述の中には「清心はいいところって周りの大人がよく言っていたから」というものもあった。本学に対するこの期待と信頼を、本学は裏切るわけにはいかない。

12. 本学への入学理由

本学に入学しようと思った理由として最も多く挙げられたのは「学びたい学科内容があるから」（314名）であり、以下、「自宅から通学できるから」（288名）、「自分の将来に役立ちそうだから」（252名）、「免許資格の合格実績・就職率が高いから」（221名）、「取りたい免許・資格があるから」（187名）、「家族・親族から勧められたから」（176名）、「授業料が安いから」（136名）などと続く（図5）。

学びたいと思っている学問分野のある学科を志望し入学するというのは、入学理由として当然のことであり、「学びたい学科内容があるから」が第1位であるのは本学の健全さを示しているといえよう。しかし、「校風」「清心ならではの教育」「リベラル・アーツ」という本学の特色が上位に入っておらず、広報に改善の余地があるといえる。第2位以下の理由は、「通学圏」「大学での学びの有用性」「学費（コストパフォーマンス）」に関するものとして分類できる。したがって、受験生に対するアピールもこれらに対応させておこなう必要がある。

図5 本学に入学しようと思った理由（あてはまるもの全て）



通学圏については、隣接県である香川県北部、広島県東部、兵庫県西部の高等学校に対して、自宅通学が可能であることを積極的にアピールしてもよいであろう。ただし、「自宅から通学できるから」を理由に挙げなかった学生も228名（44.2%）おり、これは言い換えれば自宅通学にこだわらない学生も半数近くいるということである。今後、岡山県外の受験者増をめざすのであれば、住居の斡旋や朝食・夕食の提供など、学生・保護者が安心できる住居環境の整備も求められる。

大学での学びの有用性については、ただ就職率や免許・資格の取得者数をアピールするだけでなく、大学での学びが具体的に社会でどのように活かされるのかを示すことが効果的であろう。むしろ、免許や資格の取得にあらわれない部分としての「本学で学んだからこそ身につく力」をアピールすることができれば、本学独自の教育の魅力として他大学との差異化を図ることができると思われる。

学費面については、授業料の金額だけでなく、奨学金の充実や大学による各種サポートと併せた総合的なアピールが必要である。それと同時に、「これだけの力がつくのであれば、学費など安いものだ」と受験生や保護者に思わせるような有用性と結びつけたアピールも、他大学との差異化を図るうえで重要となる。

学生の出身高校都道府県および入試形態別のデータもみておくことにしよう。表5は、出身高校の都道府県を「岡山県」「香川県」「広島県」「それ以外」に分類し、本学入学理由を比較したものである。岡山県の学生の多くが自宅から通学できることのメリットを理由として挙げているのは当然として、学びの内容や校風、有用性を挙げる者の比率が県外の学生と比較して相対的に低いのは非常に残念な結果である。遠方から本学を選んで入学してくる県外の学生のほうが、本学の教育内容や有用性がより強く意識されるのであろう。

また表6は、本学入学理由を入試形態別に比較したものである。ここでは、一般前期で入学した学生が「自宅から通学できる」ことを第一に挙げている点の特徴的であり、「学びたい学科内容がある」「自分の将来に役に立つ」「取りたい免許・資格がある」といった大学での学びに関する項目は相対的に低い。この結果をわれわれは謙虚に受け止めるべきであろう。一般入試で入学してくる学生たちが、本学を教育内容で選んだと躊躇なく言えるようになることが、本学にとって

の究極の目標ともいえる。

表5 出身高等学校都道府県別にみた本学入学理由

	学びたい学科 内容がある	キリスト教に 基づいた教育	リベラル・アー ツ・カレッジ	自分の将来に 役に立つ	校風が合っ ている	家族・親族か ら勧められた	学校の先生に 勧められた
岡山県	245 (59.9)	35 (8.6)	20 (4.9)	199 (48.7)	48 (11.7)	140 (34.2)	73 (17.8)
香川県	35 (70.0)	3 (6.0)	2 (4.0)	32 (64.0)	14 (28.0)	19 (38.0)	17 (34.0)
広島県	9 (75.0)	0 (0.0)	2 (16.7)	6 (50.0)	1 (8.3)	3 (25.0)	3 (25.0)
それ以外	25 (69.4)	3 (8.3)	1 (2.8)	15 (41.7)	7 (19.4)	13 (36.1)	12 (33.3)
全 体	314 (61.9)	41 (8.1)	25 (4.9)	252 (49.7)	70 (13.8)	175 (34.5)	105 (20.7)

	塾等の先生に 勧められた	授業料が安い	免許資格の合 格実績・就職率	取りたい免許 資格がある	自宅から通学 できる	その他	度数
	10 (2.4)	117 (28.6)	183 (44.7)	137 (33.5)	254 (62.1)	9 (2.2)	409
	5 (10.0)	11 (22.0)	19 (38.0)	25 (50.0)	25 (50.0)	1 (2.0)	50
	1 (8.3)	2 (16.7)	6 (50.0)	6 (50.0)	4 (33.3)	0 (0.0)	12
	3 (8.3)	6 (16.7)	13 (36.1)	19 (52.8)	4 (11.1)	2 (5.6)	36
	19 (3.7)	136 (26.8)	221 (43.6)	187 (36.9)	287 (56.6)	12 (2.4)	507

註) 表中の () 内の数値は、度数に占める回答数の比率である。

表6 入試形態別にみた本学入学理由

	学びたい学科 内容がある	キリスト教に 基づいた教育	リベラル・アー ツ・カレッジ	自分の将来に 役に立つ	校風が合っ ている	家族・親族か ら勧められた	学校の先生に 勧められた
指定校推薦	133 (72.3)	25 (13.6)	11 (6.0)	111 (60.3)	32 (17.4)	67 (36.4)	49 (26.6)
公募制推薦	49 (64.5)	5 (6.6)	6 (7.9)	43 (56.6)	12 (15.8)	31 (40.8)	14 (18.4)
一般前期	88 (50.3)	6 (3.4)	5 (2.9)	73 (41.7)	17 (9.7)	49 (28.0)	26 (14.9)
一般後期	32 (59.3)	4 (7.4)	2 (3.7)	17 (31.5)	5 (9.3)	17 (31.5)	11 (20.4)
センター前期	3 (60.0)	1 (20.0)	0 (0.0)	2 (40.0)	1 (20.0)	4 (80.0)	2 (40.0)
センター後期	6 (75.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	0 (0.0)	3 (37.5)	0 (0.0)
全 体	311 (62.0)	41 (8.2)	24 (4.8)	247 (49.2)	67 (13.3)	171 (34.1)	102 (20.3)

	塾等の先生に 勧められた	授業料が安い	免許資格の合 格実績・就職率	取りたい免許 資格がある	自宅から通学 できる	その他	度数
	4 (2.2)	31 (16.8)	84 (45.7)	75 (40.8)	86 (46.7)	1 (0.5)	184
	3 (3.9)	19 (25.0)	39 (51.3)	36 (47.4)	49 (64.5)	1 (1.3)	76
	7 (4.0)	57 (32.6)	71 (40.6)	51 (29.1)	113 (64.6)	7 (4.0)	175
	2 (3.7)	23 (42.6)	18 (33.3)	19 (35.2)	31 (57.4)	2 (3.7)	54
	1 (20.0)	1 (20.0)	2 (40.0)	3 (60.0)	3 (60.0)	0 (0.0)	5
	2 (25.0)	3 (37.5)	5 (62.5)	2 (25.0)	3 (37.5)	1 (12.5)	8
	19 (3.8)	134 (26.7)	219 (43.6)	186 (37.1)	285 (56.8)	12 (2.4)	502

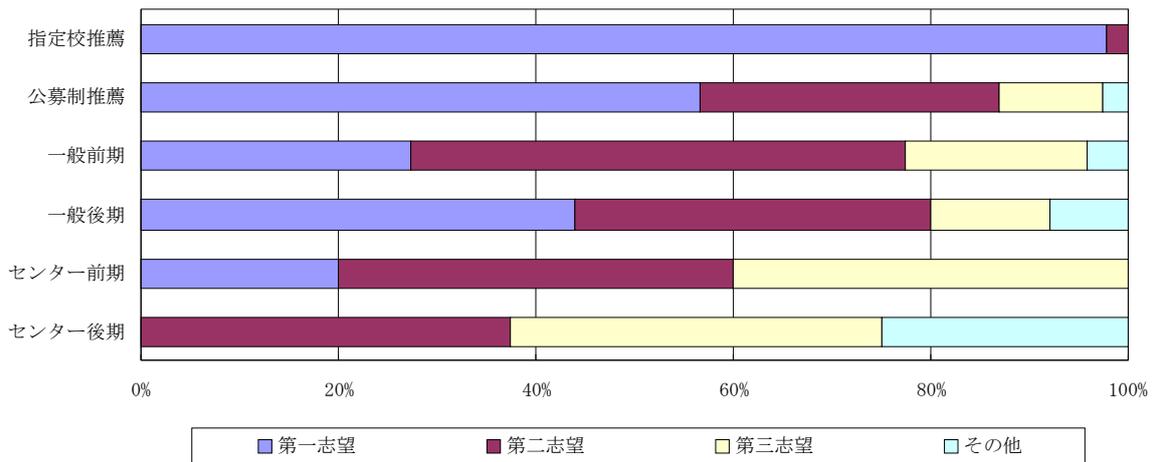
註) 表中の () 内の数値は、度数に占める回答数の比率である。

1 3. 本学の志望順位

2019 年度入学生のうち本学が第一志望であった学生は、全体の 57.4%であり、第二志望が 26.2%、第三志望が 9.7%である²⁾。これを入試区分別にみたものが図 6 である。

²⁾ 516名の回答の内訳は、「第一志望」296名(57.4%)、「第二志望」135名(26.2%)、「第三志望」50名(9.7%)、「その他」15名(2.9%)、無回答20名(3.9%)である。「その他」には、第四志望以下であった者や、「親が許してくれた範囲の中では第一志望だった」「ほかに行くところがなかった」などの回答が含まれる。

図6 入試区分別にみた本学の志望順位



指定校推薦は専願ということもあり、97.8%が第一志望である。逆に、一般前期以降の入試では受験生の多くが国立大学との併願であると考えられるため、第二志望、第三志望の比率が高まる。特にセンター利用入試による入学者の中には「国立大学が不合格になり、ほかに選択肢がなかった」というケースも含まれるであろう。

本学が受験生にとって国立大学との併願校というポジションにある限り、第二志望以下の受験生を受け入れるという実態は今後も変わることはない。しかし、第三志望以下の受験生を国立大学に次ぐ第二志望へ、また第二志望の受験生を第一志望へと順位を上げる努力は怠ってはならないだろう。前節で述べた本学独自の教育の魅力と有用性を高めるとともに、例えば2020年度からスタートする特待生的な性格をもつ「清心ブルー&ゴールド奨学金」は、学力の高い合格者に本学を選んでもらう制度としての効果が期待される。

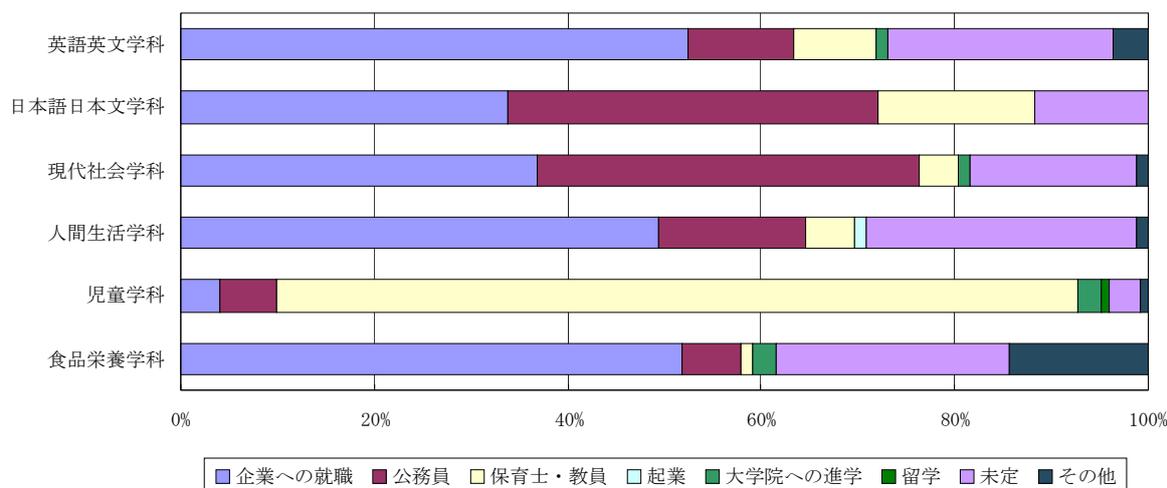
1.4. 大学卒業後の進路

本学に入学した時点で、新入生たちは卒業後の進路についてはどのような見通しをもっているのだろうか。「今の時点で考えているもの」を答えてもらったところ、「企業への就職」が181名(35.1%)と最も多く、「保育士・教員」127名(24.6%)、「公務員」89名(17.2%)を合わせたこの3つで、全体の76.9%を占める³⁾。他方、「未定」と回答した学生も86名(16.7%)と多い。入学時に抱いていた進路イメージが、4年間の学生生活を経ることで、ますます強固なものとなっていくのか、あるいは大きく変更されることになるのか、その過程を検証することも本学の教育内容を考えるうえで必要かもしれない。

図7は、卒業後の進路の見通しを学科別にみたものである。児童学科の「保育士・教員」志望の多さとともに、日本語日本文学科と現代社会学科の公務員志向が目立つ。なお、食品栄養学科に多くみられる「その他」の具体的な記述内容は「管理栄養士」「病院」であり、学科で学ぶ専門性を将来に結びつけることが明確にイメージされている。

³⁾ その他の回答の内訳は、「大学院への進学」(7名)、「起業」(1名)、留学(1名)、「未定」86名、「その他」18名である。「その他」には、「専門学校」や「就職のち起業」といった具体的な進路のほか、「日本語教師」「社会福祉士」「管理栄養士」などの資格名、「事務」など勤務内容に関するものが記述されていた。食品栄養学科の「その他」の記述には、想定される勤務先としての「病院」が多い。なお、無回答は6名である。

図7 学科別にみた大学卒業後の進路の見通し



学科カリキュラムと卒業後の職業が直結する児童学科や食品栄養学科の学生にとっては、大学を志望する時点ですでに将来の職業選択がなされており、その希望を実現するための免許・資格の取得が大学進学目的となっている。表7は本学に入学しようと思った理由を学科別に示したものであるが、この2学科では「学びたい学科内容」「取りたい免許・資格」「自分の将来に役に立つ」が職業と結びつけて捉えられている。入学時に描いていた将来像が、大学生活を送る中で何らかの理由で変更を余儀なくされた場合、本学・学科に対する帰属意識や勉学意欲は急速に失われていくであろう。免許や資格を取得できる大学・学科であることが、受験生にとって大きな魅力の一つとなっているのは間違いない。しかし、「資格のため」「職業のため」にとどまらない本学で学ぶことの魅力によって、受験生から選ばれる大学・学科となることをめざすべきであろう。

表7 学科別にみた本学入学理由

	学びたい学科内容がある	キリスト教に基づいた教育	リベラル・アーツ・カレッジ	自分の将来に役に立つ	校風が合っている	家族・親族から勧められた	学校の先生に勧められた
英語英文学科	55 (67.9)	9 (11.1)	2 (2.5)	40 (49.4)	9 (11.1)	31 (38.3)	13 (16.0)
日本語日文学科	37 (53.6)	7 (10.1)	3 (4.3)	35 (50.7)	14 (20.3)	19 (27.5)	14 (20.3)
現代社会学科	41 (55.4)	9 (12.2)	3 (4.1)	32 (43.2)	11 (14.9)	22 (29.7)	17 (23.0)
人間生活学科	44 (55.7)	1 (1.3)	4 (5.1)	33 (41.8)	8 (10.1)	27 (34.2)	19 (24.1)
児童学科	72 (58.5)	10 (8.1)	7 (5.7)	65 (52.8)	21 (17.1)	56 (45.5)	32 (26.0)
食品栄養学科	65 (78.3)	6 (7.2)	6 (7.2)	47 (56.6)	7 (8.4)	21 (25.3)	10 (12.0)
全体	314 (61.7)	42 (8.3)	25 (4.9)	252 (49.5)	70 (13.8)	176 (34.6)	105 (20.6)

	塾等の先生に勧められた	授業料が安い	免許資格の合格実績・就職率	取りたい免許資格がある	自宅から通学できる	その他	度数
	1 (1.2)	19 (23.5)	31 (38.3)	12 (14.8)	40 (49.4)	3 (3.7)	81
	1 (1.4)	15 (21.7)	29 (42.0)	25 (36.2)	43 (62.3)	2 (2.9)	69
	6 (8.1)	19 (25.7)	29 (39.2)	15 (20.3)	49 (66.2)	0 (0.0)	74
	2 (2.5)	23 (29.1)	27 (34.2)	13 (16.5)	54 (68.4)	3 (3.8)	79
	7 (5.7)	31 (25.2)	56 (45.5)	72 (58.5)	61 (49.6)	4 (3.3)	123
	2 (2.4)	29 (34.9)	49 (59.0)	50 (60.2)	41 (49.4)	0 (0.0)	83
	19 (3.7)	136 (26.7)	221 (43.4)	187 (36.7)	288 (56.6)	12 (2.4)	509

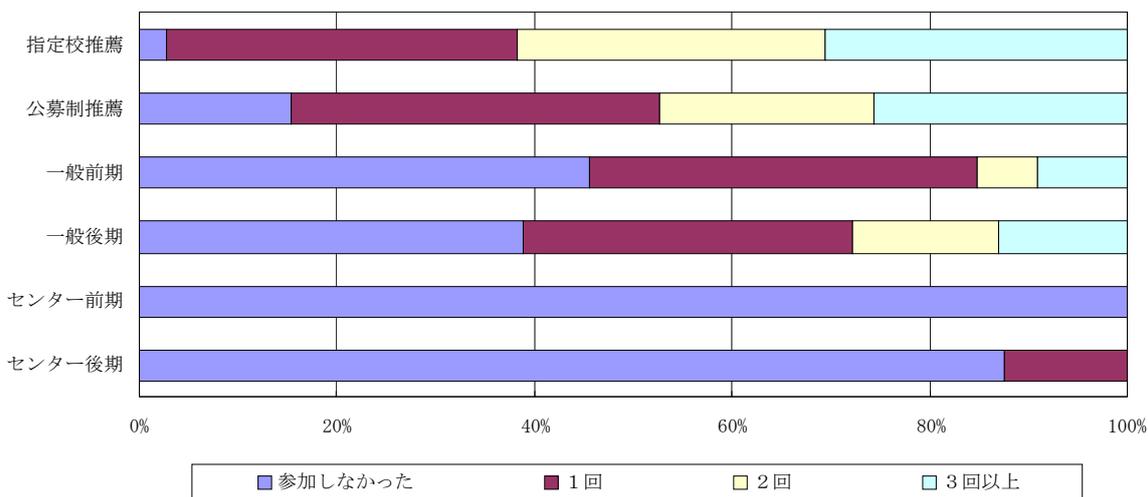
註) 表中の () 内の数値は、度数に占める回答数の比率である。

15. オープンキャンパスへの参加状況

オープンキャンパスは、受験生およびその保護者と本学との重要な接点であり、本学の魅力をハード・ソフトの両面からアピールできる唯一ともいえる機会である。オープンキャンパスの参加回数は、「1回」186名（36.0%）、「2回」96名（18.6%）、「3回以上」103名（20.0%）、「参加しなかった」131名（25.4%）となっており、入学者全体の4分の3がオープンキャンパスに参加していることがわかる。ただし、オープンキャンパスへの参加状況は入試区分によって大きく異なる。次の図8は、本学のオープンキャンパスに参加した回数を入試区分別に比較したものである。

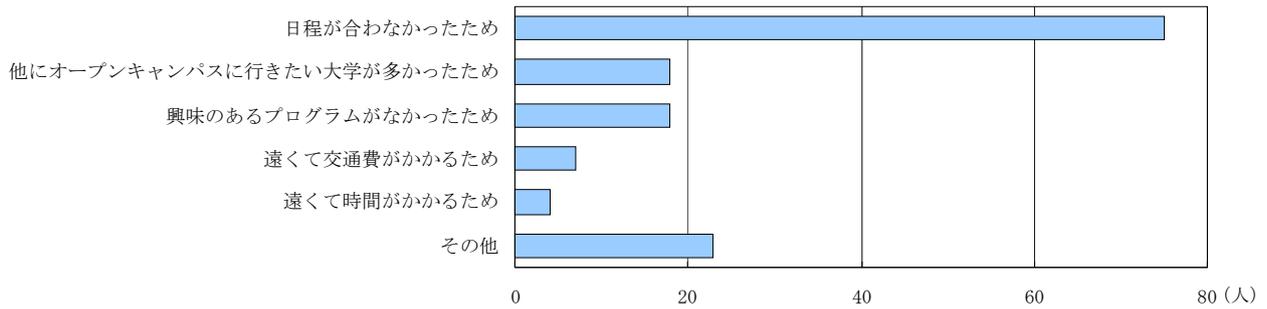
指定校推薦や公募制推薦による入学者は、ほとんどの者がオープンキャンパスに参加しており、複数回参加する者も少なくない。これに対し、一般入試での入学者は複数回参加する者もいる一方で、一度も参加せずに受験する者が約4割いる。センター利用入試にいたっては、参加しなかったという者がほとんどである。

図8 入試区分別にみた本学オープンキャンパスの参加回数



では、オープンキャンパスに参加しないのは、どのような理由によるのだろうか。アンケートではオープンキャンパスに一度も参加していない者に限定してその理由を尋ねているが、参加経験のある者からも回答があり、計124名から回答が寄せられた。図9はその集計結果である。理由の中で最も多いのが「日程が合わなかったため」（75名）であり、「興味のあるプログラムがなかった」（18名）「他にオープンキャンパスに行きたい大学が多かった」（18名）が続く。なお、「その他」の23名の回答の中には、「姉が通っていて大学の魅力を知っていた」「個別見学で行ったことがある」「大学決定にそこまで迷いがなかった」というものもあるが、大多数は「第一志望ではなかったから」「本学を受験することを考えていなかったから」「入試直前に本学受験が決まったから」という内容である。

図9 オープンキャンパスに参加しなかった理由（あてはまるもの全て）



オープンキャンパスの不参加理由の中で最も多い「日程が合わない」への対応としては、開催日程の検討および開催回数を増やすことの検討が必要である。開催日程については、高等学校の行事日程（定期試験や検定試験など）や、他大学のオープンキャンパス日程等を考慮して設定することを最低限の原則としつつ、各入試区分の受験生の志望校決定時期に合わせて、ターゲットを絞ってプログラムを組み立てることも効果的であろう。開催回数については、ただ回数を増やすだけで、これまで参加しなかった層が参加するようになるとは考えにくい。すでに2回、3回と参加してくれている層がリピート参加しても、受験者数増にはつながらない。オープンキャンパスの参加者・不参加者についてより詳細なデータを収集したうえで、開催日程・開催回数の検討をおこなわなければならないだろう。それと同時に、本学のこれまでのオープンキャンパスがどのような方針で日程を決定してきたのかを再確認し、現行の日程・回数が本当に効果的であるのかを見直す作業も必要である。

前述したように、オープンキャンパスは本学の雰囲気や在学生の様子など、実際に体験してもらうことで初めて感じることでできる本学の魅力を、受験生や保護者に伝えるための重要な場である。これまで参加しなかった層にいかにして参加してもらうか、また、これまで参加していた層に対してはいかにして多様なニーズにより応えることができるかという観点から、検討がなされねばならない。

16. まとめと提言

本調査の目的は、冒頭で述べたとおり本学の教育改善および今後の広報活動に役立てることである。このことを念頭に、次の3つの提言をおこなう。

まず、本学がリベラル・アーツ・カレッジであることの学内での再認識である。新入生が本学を選んだ理由の中で、校風やキリスト教に基づいた教育と並んでリベラル・アーツ・カレッジであることは下位に位置しているが、これらこそが他大学にはみられない、本学の独自性をあらわす重要な特色である。就職率や免許・資格取得者数などの数値で示されるデータと比べて説明が難しいからこそ、今後はより一層、リベラル・アーツ・カレッジが指し示すものについて議論とインナーコミュにメーションを深めてゆき、学内の共通認識に立った教育と広報につなげることが重要である。

次に、広報媒体の効果について、データに基づいたエビデンスを構築することの必要性である。本学では、オープンキャンパスをはじめ、大学案内やテレビCM、駅の看板など、さまざまな媒体による広報活動をおこなっているが、その効果については十分な検証がなされていない。例え

ば、3月のオープンキャンパスに参加した高校2年生が3年生になり、再度オープンキャンパスや進学説明会に参加したのか、またオープンキャンパスの参加が出願につながったのかといった点からの分析は、手つかずになっているのが現状である。オープンキャンパスに関しては、参加者の動向を追跡できるようなデータを収集することが必要となるであろうし、各情報媒体の効果については即時的・長期的効果をとともに見極めるだけのデータの蓄積が前提となる。これらのデータ収集と分析をおこなうためには、入試広報部とIRセンターの協働体制を推進するとともに、業者への一部委託も視野に入れながらの対応を検討する必要がある。

最後に、広報室との連携強化である。上記2つの提言にまつわる問題は、「入試」広報に限定されない。入試広報部では受験生やその保護者、高校教員を主たる広報対象としているが、彼女／彼らは本学を取り巻くステークホルダーの一員であり、「大学」広報の対象でもある。本学の魅力や地域における役割を発信することが、受験生やその家族に選ばれる大学としてのブランド力を高めることにもつながるのである。本学広報室と緊密な連携を取り、戦略的な広報活動を展開していくことが今後取り組むべき課題であるといえよう。

大学が評価され選ばれる存在となり、その存在意義が問われる時代であるからこそ、本学の課題も特定の部署が個別に対処しうる性質のものではなくなっている。本学教職員が共通の課題認識を形成し、全学的に情報を共有するための体制整備と信頼できるデータの提供が、IRセンターの果たすべき役割となる。

基礎集計表

高校生 のとき、大学で学びたいと思っていた学問分野

表1 学科別・志望順位別にみた大学で学びたい学問分野

	英語英文学科				日本語日本文学科					
	全 体	第一志望	第二志望	第三志望	全 体	第一志望	第二志望	第三志望		
英文学	29 (35.4)	21 (43.8)	6 (31.6)	2 (18.2)	4 (5.8)	2 (5.1)	2 (12.5)	0 (0.0)		
英語・言語学	49 (59.8)	31 (64.6)	13 (68.4)	5 (45.5)	8 (11.6)	4 (10.3)	4 (25.0)	0 (0.0)		
国際コミュニケーション	66 (80.5)	40 (83.3)	14 (73.7)	8 (72.7)	3 (4.3)	1 (2.6)	2 (12.5)	0 (0.0)		
日本近代文学	2 (2.4)	2 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	31 (44.9)	19 (48.7)	5 (31.3)	4 (66.7)		
古典文学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	37 (53.6)	20 (51.3)	7 (43.8)	4 (66.7)		
日本語・言語学	6 (7.3)	5 (10.4)	0 (0.0)	1 (9.1)	40 (58.0)	25 (64.1)	11 (68.8)	1 (16.7)		
社会学	2 (2.4)	0 (0.0)	2 (10.5)	0 (0.0)	3 (4.3)	1 (2.6)	1 (6.3)	0 (0.0)		
歴史・考古学	2 (2.4)	0 (0.0)	1 (5.3)	1 (9.1)	7 (10.1)	3 (7.7)	1 (6.3)	1 (16.7)		
地理学	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
生活科学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
被服学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.9)	0 (0.0)	1 (6.3)	1 (16.7)		
住居学	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)		
経営・経済・商学	14 (17.1)	3 (6.3)	7 (36.8)	3 (27.3)	3 (4.3)	0 (0.0)	2 (12.5)	0 (0.0)		
社会福祉学	1 (1.2)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)		
教員養成・教育学	9 (11.0)	5 (10.4)	1 (5.3)	2 (18.2)	13 (18.8)	9 (23.1)	1 (6.3)	2 (33.3)		
保育・児童学	2 (2.4)	2 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (4.3)	3 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)		
心理学	13 (15.9)	7 (14.6)	3 (15.8)	2 (18.2)	21 (30.4)	11 (28.2)	4 (25.0)	4 (66.7)		
食物・栄養学	3 (3.7)	3 (6.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (4.3)	2 (5.1)	1 (6.3)	0 (0.0)		
哲学・倫理・宗教	2 (2.4)	2 (4.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (21.7)	6 (15.4)	7 (43.8)	1 (16.7)		
法学・政治学	2 (2.4)	0 (0.0)	1 (5.3)	1 (9.1)	3 (4.3)	1 (2.6)	2 (12.5)	0 (0.0)		
看護・保健学	3 (3.7)	1 (2.1)	0 (0.0)	1 (9.1)	1 (1.4)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
薬学	1 (1.2)	0 (0.0)	1 (5.3)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
特になし	2 (2.4)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.4)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
その他	4 (4.9)	1 (2.1)	1 (5.3)	1 (9.1)	3 (4.3)	1 (2.6)	2 (12.5)	0 (0.0)		
度数		82					69			

	現代社会学科				人間生活学科					
	全 体	第一志望	第二志望	第三志望	全 体	第一志望	第二志望	第三志望		
英文学	5 (6.5)	2 (4.9)	3 (15.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
英語・言語学	13 (16.9)	6 (14.6)	6 (30.0)	1 (12.5)	11 (14.3)	4 (8.5)	5 (20.8)	1 (25.0)		
国際コミュニケーション	11 (14.3)	4 (9.8)	4 (20.0)	1 (12.5)	7 (9.1)	2 (4.3)	4 (16.7)	1 (25.0)		
日本近代文学	5 (6.5)	2 (4.9)	2 (10.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	2 (4.3)	0 (0.0)	0 (0.0)		
古典文学	6 (7.8)	3 (7.3)	2 (10.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	1 (2.1)	0 (0.0)	0 (0.0)		
日本語・言語学	9 (11.7)	4 (9.8)	2 (10.0)	1 (12.5)	2 (2.6)	1 (2.1)	1 (4.2)	0 (0.0)		
社会学	52 (67.5)	27 (65.9)	15 (75.0)	5 (62.5)	3 (3.9)	1 (2.1)	2 (8.3)	0 (0.0)		
歴史・考古学	28 (36.4)	19 (46.3)	5 (25.0)	3 (37.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)		
地理学	9 (11.7)	5 (12.2)	2 (10.0)	1 (12.5)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (4.2)	0 (0.0)		
生活科学	3 (3.9)	0 (0.0)	3 (15.0)	0 (0.0)	16 (20.8)	12 (25.5)	4 (16.7)	0 (0.0)		
被服学	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	20 (26.0)	15 (31.9)	4 (16.7)	1 (25.0)		
住居学	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	19 (24.7)	12 (25.5)	6 (25.0)	1 (25.0)		
経営・経済・商学	29 (37.7)	11 (26.8)	9 (45.0)	4 (50.0)	43 (55.8)	26 (55.3)	13 (54.2)	2 (50.0)		
社会福祉学	2 (2.6)	1 (2.4)	1 (5.0)	0 (0.0)	16 (20.8)	11 (23.4)	3 (12.5)	2 (50.0)		
教員養成・教育学	10 (13.0)	6 (14.6)	2 (10.0)	2 (25.0)	8 (10.4)	5 (10.6)	3 (12.5)	0 (0.0)		
保育・児童学	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	5 (6.5)	5 (10.6)	0 (0.0)	0 (0.0)		
心理学	25 (32.5)	13 (31.7)	6 (30.0)	2 (25.0)	26 (33.8)	15 (31.9)	9 (37.5)	2 (50.0)		
食物・栄養学	2 (2.6)	1 (2.4)	1 (5.0)	0 (0.0)	15 (19.5)	7 (14.9)	7 (29.2)	1 (25.0)		
哲学・倫理・宗教	15 (19.5)	6 (14.6)	6 (30.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (2.1)	1 (4.2)	0 (0.0)		
法学・政治学	20 (26.0)	8 (19.5)	9 (45.0)	1 (12.5)	2 (2.6)	0 (0.0)	1 (4.2)	0 (0.0)		
看護・保健学	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (2.1)	0 (0.0)	1 (25.0)		
薬学	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (5.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	1 (2.1)	1 (4.2)	0 (0.0)		
特になし	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (4.2)	0 (0.0)		
その他	7 (9.1)	2 (4.9)	3 (15.0)	2 (25.0)	4 (5.2)	1 (2.1)	3 (12.5)	0 (0.0)		
度数		77					77			

	児童学科				食品栄養学科			
	全 体	第一志望	第二志望	第三志望	全 体	第一志望	第二志望	第三志望
英文学	1 (0.8)	1 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
英語・言語学	15 (12.1)	10 (16.7)	3 (7.7)	1 (7.7)	9 (10.8)	6 (10.3)	1 (6.3)	2 (25.0)
国際コミュニケーション	8 (6.5)	8 (13.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	4 (4.8)	4 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
日本近代文学	1 (0.8)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (7.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
古典文学	3 (2.4)	1 (1.7)	0 (0.0)	2 (15.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
日本語・言語学	3 (2.4)	2 (3.3)	0 (0.0)	1 (7.7)	2 (2.4)	1 (1.7)	0 (0.0)	1 (12.5)
社会学	1 (0.8)	0 (0.0)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
歴史・考古学	4 (3.2)	1 (1.7)	1 (2.6)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
地理学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (2.4)	0 (0.0)	1 (6.3)	0 (0.0)
生活科学	3 (2.4)	2 (3.3)	1 (2.6)	0 (0.0)	9 (10.8)	3 (5.2)	5 (31.3)	1 (12.5)
被服学	3 (2.4)	1 (1.7)	1 (2.6)	0 (0.0)	3 (3.6)	2 (3.4)	1 (6.3)	0 (0.0)
住居学	2 (1.6)	1 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)	3 (3.6)	3 (5.2)	0 (0.0)	0 (0.0)
経営・経済・商学	7 (5.6)	3 (5.0)	1 (2.6)	1 (7.7)	7 (8.4)	3 (5.2)	3 (18.8)	1 (12.5)
社会福祉学	7 (5.6)	1 (1.7)	2 (5.1)	2 (15.4)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
教員養成・教育学	88 (71.0)	37 (61.7)	32 (82.1)	11 (84.6)	4 (4.8)	2 (3.4)	1 (6.3)	0 (0.0)
保育・児童学	94 (75.8)	52 (86.7)	26 (66.7)	8 (61.5)	4 (4.8)	4 (6.9)	0 (0.0)	0 (0.0)
心理学	62 (50.0)	37 (61.7)	14 (35.9)	6 (46.2)	18 (21.7)	13 (22.4)	2 (12.5)	2 (25.0)
食物・栄養学	5 (4.0)	2 (3.3)	2 (5.1)	1 (7.7)	76 (91.6)	57 (98.3)	13 (81.3)	5 (62.5)
哲学・倫理・宗教	5 (4.0)	1 (1.7)	1 (2.6)	2 (15.4)	3 (3.6)	1 (1.7)	2 (12.5)	0 (0.0)
法学・政治学	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (1.2)	1 (1.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
看護・保健学	3 (2.4)	1 (1.7)	2 (5.1)	0 (0.0)	8 (9.6)	3 (5.2)	4 (25.0)	1 (12.5)
薬学	3 (2.4)	0 (0.0)	2 (5.1)	0 (0.0)	7 (8.4)	2 (3.4)	4 (25.0)	0 (0.0)
特になし	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	3 (2.4)	2 (3.3)	1 (2.6)	0 (0.0)	5 (6.0)	1 (1.7)	2 (12.5)	2 (25.0)
度数		124				83		

註)「全体」は各学科全員の回答，第一志望から第三志望は本学の志望順位別に回答をそれぞれ集計したものである(志望順位が「その他」の者の回答は除く)。

大学を受験する上で，参考にしたもの

表2 学科別にみた大学受験時に参考にした情報媒体

	英語英文学科					日本語日本文学科					現代社会学科							
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位			
大学案内	27	12	11	6	4	14	14	11	6	3	14	8	13	12	3			
大学ホームページ	12	19	20	7	4	9	21	9	10	1	9	21	16	9	2			
オープンキャンパス	23	19	9	3	1	25	10	7	5	1	25	14	7	2	1			
大学から送付された資料	4	17	15	7	3	6	7	14	10	3	8	5	8	4	3			
受験情報誌	0	1	3	7	11	2	1	1	1	7	0	3	2	1	9			
受験情報Webサイト	2	2	3	11	9	4	5	5	3	10	4	2	4	4	5			
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	2	0	0	2	0	0	0	2	5	0	0	1	1	3			
テレビCM	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0			
駅の看板，電車・バスのポスター	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1			
複数の大学が集まる進学説明会	1	2	1	3	1	0	0	1	0	1	0	2	3	1	2			
高校での進学説明会	6	2	2	1	5	3	1	3	1	2	3	1	1	2	3			
高校に置いてある資料	3	2	5	8	11	5	5	6	7	5	5	8	3	6	6			
その他	3	0	0	1	1	0	2	0	0	0	3	1	1	1	0			
度数		81						68						72				

	人間生活学科					児童学科					食品栄養学科				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	15	16	12	7	7	23	22	19	9	9	16	16	13	11	1
大学ホームページ	11	19	20	9	5	12	28	29	12	9	9	23	21	8	5
オープンキャンパス	27	17	11	4	1	50	26	11	4	1	42	16	9	2	0
大学から送付された資料	10	6	5	15	5	6	16	17	15	8	9	10	10	13	8
受験情報誌	0	2	2	5	5	1	1	2	9	14	2	0	1	2	10
受験情報Webサイト	3	5	4	6	10	9	4	9	10	7	0	3	5	10	10
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	0	2	0	3	0	0	0	0	3	0	0	0	2	3
テレビCM	0	0	0	1	1	0	0	0	2	2	0	0	0	2	2
駅の看板、電車・バスのポスター	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1
複数の大学が集まる進学説明会	2	2	0	0	1	0	2	0	2	0	0	0	3	1	1
高校での進学説明会	4	1	0	4	1	4	3	4	2	6	2	3	4	3	4
高校に置いてある資料	1	4	11	3	11	3	5	9	16	5	2	2	9	7	6
その他	4	0	2	0	0	12	3	0	0	2	0	3	0	0	1
度数	77					120					82				

表3 入試形態別にみた大学受験時に参考にした情報媒体

	指定校推薦					公募制推薦					一般前期				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	20	33	36	28	12	19	16	12	7	6	45	31	21	11	6
大学ホームページ	12	35	53	22	15	11	27	19	4	3	30	44	33	18	4
オープンキャンパス	99	52	9	4	1	37	13	10	5	2	40	26	23	10	2
大学から送付された資料	14	24	22	28	16	4	11	10	13	6	16	19	26	16	5
受験情報誌	0	3	3	10	20	2	0	2	3	9	2	4	5	7	19
受験情報Webサイト	1	4	12	13	19	0	2	5	9	9	17	10	6	18	18
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	1	1	2	7	0	0	0	3	1	0	0	2	0	6
テレビCM	0	1	0	4	5	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0
駅の看板、電車・バスのポスター	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
複数の大学が集まる進学説明会	2	4	6	3	3	0	1	0	1	1	1	3	2	1	0
高校での進学説明会	16	9	5	7	9	2	1	3	2	3	3	0	5	4	8
高校に置いてある資料	11	10	16	16	20	1	4	10	11	9	7	7	13	12	12
その他	10	4	0	2	0	1	0	1	0	1	4	2	1	0	3
度数	185					77					166				

	一般後期					センター利用前期					センター利用後期				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	17	5	10	4	3	3	1	0	0	0	3	2	0	0	0
大学ホームページ	7	16	7	8	4	1	3	0	1	0	1	4	1	1	0
オープンキャンパス	13	8	10	1	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
大学から送付された資料	6	6	6	6	2	0	0	1	0	1	2	0	2	1	0
受験情報誌	1	1	0	4	7	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0
受験情報Webサイト	4	5	5	2	2	0	0	1	0	1	0	0	1	2	2
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	1	0	0	4	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0
テレビCM	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駅の看板、電車・バスのポスター	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
複数の大学が集まる進学説明会	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
高校での進学説明会	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
高校に置いてある資料	0	5	3	6	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	6	2	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
度数	54					7									

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表4 出身高等学校都道府県別にみた大学受験時に参考にした情報媒体

	岡山県					香川県					広島県				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	91	75	61	43	17	8	8	10	5	4	3	2	0	0	1
大学ホームページ	52	100	96	41	20	0	18	10	7	3	4	2	3	1	1
オープンキャンパス	159	80	47	15	5	22	8	3	2	0	1	3	3	2	0
大学から送付された資料	33	49	51	48	28	5	4	8	7	1	1	2	1	2	0
受験情報誌	4	6	6	19	42	0	1	4	2	7	0	0	0	1	0
受験情報Webサイト	14	14	18	33	46	3	5	4	5	2	0	1	3	1	1
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	2	3	4	12	0	0	0	0	3	0	0	0	0	1
テレビCM	0	1	1	5	3	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0
駅の看板、電車・バスのポスター	1	0	0	1	3	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0
複数の大学が集まる進学説明会	3	6	8	6	2	0	1	0	0	2	0	1	0	0	0
高校での進学説明会	16	9	14	13	18	3	1	0	0	1	1	0	0	0	0
高校に置いてある資料	14	23	37	40	38	3	1	5	4	2	0	0	0	0	1
その他	14	8	2	2	3	5	0	0	0	1	2	0	0	0	0
度数	401					49					12				

	その他の府県				
	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	6	3	8	3	5
大学ホームページ	6	10	6	6	2
オープンキャンパス	10	11	1	1	0
大学から送付された資料	4	6	9	7	1
受験情報誌	1	1	1	3	7
受験情報Webサイト	4	1	5	5	2
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	0	0	1	3
テレビCM	0	0	0	0	1
駅の看板、電車・バスのポスター	0	0	0	0	0
複数の大学が集まる進学説明会	0	0	0	1	2
高校での進学説明会	2	1	0	0	2
高校に置いてある資料	2	2	1	3	3
その他	1	0	1	0	0
度数	36				

表5 本学の志望順位別にみた大学受験時に参考にした情報媒体

	第一志望					第二志望					第三志望				
	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	47	57	53	38	17	38	20	17	10	6	15	6	6	2	2
大学ホームページ	25	70	79	37	20	25	41	21	13	4	10	11	10	1	1
オープンキャンパス	147	72	22	10	2	31	19	24	6	1	8	7	5	3	1
大学から送付された資料	23	41	39	43	22	15	13	19	13	6	3	5	5	6	1
受験情報誌	2	3	5	13	37	2	2	3	7	14	1	1	1	3	1
受験情報Webサイト	4	9	20	24	34	8	9	9	14	7	2	2	1	2	8
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	1	1	5	11	0	1	1	0	7	0	0	0	0	1
テレビCM	0	1	1	6	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
駅の看板、電車・バスのポスター	0	1	0	1	3	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0
複数の大学が集まる進学説明会	2	4	8	3	4	1	3	0	1	2	0	0	0	3	0
高校での進学説明会	18	10	10	11	10	3	0	3	2	9	0	1	1	0	2
高校に置いてある資料	13	11	26	28	32	4	11	12	11	8	1	3	3	5	4
その他	13	7	1	2	1	4	2	1	0	2	3	0	1	0	1
度数	294					131					44				

	その他				
	1位	2位	3位	4位	5位
大学案内	5	2	2	0	0
大学ホームページ	0	5	2	2	0
オープンキャンパス	3	3	0	0	1
大学から送付された資料	1	0	3	0	1
受験情報誌	0	0	2	2	2
受験情報Webサイト	3	1	0	4	0
フェイスブックやツイッター等のSNS	0	0	1	0	0
テレビCM	0	0	0	0	1
駅の看板、電車・バスのポスター	0	0	0	0	0
複数の大学が集まる進学説明会	0	0	0	0	0
高校での進学説明会	1	0	0	0	0
高校に置いてある資料	0	0	1	1	0
その他	1	0	0	0	0
度数	14				

表6 入試形態別にみた大学受験時に相談した相手

	指定校			公募制			一般前期			一般後期			セ前期			セ後期		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
父親	9	38	26	3	10	14	9	27	13	4	17	4	1	0	0	0	2	3
母親	106	47	16	49	19	5	100	41	15	32	13	3	2	1	1	3	4	1
祖父母	1	3	8	0	2	2	0	0	5	0	0	2	0	0	0	0	0	0
兄弟姉妹	4	6	15	0	3	6	5	7	10	1	2	6	0	0	2	0	0	1
高校の先生	54	67	37	17	29	18	30	63	45	12	15	15	1	3	1	2	1	1
塾の先生	4	4	17	6	6	11	14	15	21	2	0	5	1	0	0	2	1	2
友人	3	10	35	2	7	12	10	14	33	2	3	10	0	1	1	1	0	0
先輩	4	6	14	1	2	2	3	0	5	1	1	1	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
度数	185			78			172			54			5			8		

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表7 本学の志望順位別にみた大学受験時に相談した相手

	第一志望			第二志望			第三志望			その他		
	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位	1位	2位	3位
父親	17	56	33	8	19	18	2	10	5	0	5	1
母親	174	77	20	75	37	12	27	8	6	8	2	3
祖父母	1	4	10	0	1	5	0	0	1	0	0	1
兄弟姉妹	5	7	24	3	9	12	2	2	1	0	0	1
高校の先生	72	107	71	32	48	31	8	16	11	3	4	2
塾の先生	10	11	32	11	10	11	3	4	8	3	1	3
友人	7	20	62	5	8	26	4	4	5	0	2	1
先輩	7	8	17	1	0	5	0	1	0	0	0	0
その他	1	1	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0
度数	294			135			46			14		

本学に入学しようと思った理由

表 8 学科別にみた本学入学理由

	英語英文学科	日本語日文学科	現代社会学科	人間生活学科	児童学科	食品栄養学科
学びたい学科内容があるから	55 (67.9)	37 (53.6)	41 (55.4)	44 (55.7)	72 (58.5)	65 (78.3)
清心ならではのキリスト教に基づいた教育が学べるから	9 (11.1)	7 (10.1)	9 (12.2)	1 (1.3)	10 (8.1)	6 (7.2)
リベラル・アーツ・カレッジだから	2 (2.5)	3 (4.3)	3 (4.1)	4 (5.1)	7 (5.7)	6 (7.2)
自分の将来に役に立ちそうだから	40 (49.4)	35 (50.7)	32 (43.2)	33 (41.8)	65 (52.8)	47 (56.6)
校風が合っているから	9 (11.1)	14 (20.3)	11 (14.9)	8 (10.1)	21 (17.1)	7 (8.4)
家族・親族から勧められたから	31 (38.3)	19 (27.5)	22 (29.7)	27 (34.2)	56 (45.5)	21 (25.3)
学校の先生に勧められたから	13 (16.0)	14 (20.3)	17 (23.0)	19 (24.1)	32 (26.0)	10 (12.0)
塾等の先生に勧められたから	1 (1.2)	1 (1.4)	6 (8.1)	2 (2.5)	7 (5.7)	2 (2.4)
授業料が安いから	19 (23.5)	15 (21.7)	19 (25.7)	23 (29.1)	31 (25.2)	29 (34.9)
免許・資格等の合格実績・就職率が高いから	31 (38.3)	29 (42.0)	29 (39.2)	27 (34.2)	56 (45.5)	49 (59.0)
取りたい免許・資格があるから	12 (14.8)	25 (36.2)	15 (20.3)	13 (16.5)	72 (58.5)	50 (60.2)
自宅から通学できるから	40 (49.4)	43 (62.3)	49 (66.2)	54 (68.4)	61 (49.6)	41 (49.4)
その他	3 (3.7)	2 (2.9)	0 (0.0)	3 (3.8)	4 (3.3)	0 (0.0)
度数	81	69	74	79	123	83

表 9 入試形態別にみた本学入学理由

	指定校推薦	公募制推薦	一般前期	一般後期	センター前期	センター後期
学びたい学科内容があるから	133 (72.3)	49 (64.5)	88 (50.3)	32 (59.3)	3 (60.0)	6 (75.0)
清心ならではのキリスト教に基づいた教育が学べるから	25 (13.6)	5 (6.6)	6 (3.4)	4 (7.4)	1 (20.0)	0 (0.0)
リベラル・アーツ・カレッジだから	11 (6.0)	6 (7.9)	5 (2.9)	2 (3.7)	0 (0.0)	0 (0.0)
自分の将来に役に立ちそうだから	111 (60.3)	43 (56.6)	73 (41.7)	17 (31.5)	2 (40.0)	1 (12.5)
校風が合っているから	32 (17.4)	12 (15.8)	17 (9.7)	5 (9.3)	1 (20.0)	0 (0.0)
家族・親族から勧められたから	67 (36.4)	31 (40.8)	49 (28.0)	17 (31.5)	4 (80.0)	3 (37.5)
学校の先生に勧められたから	49 (26.6)	14 (18.4)	26 (14.9)	11 (20.4)	2 (40.0)	0 (0.0)
塾等の先生に勧められたから	4 (2.2)	3 (3.9)	7 (4.0)	2 (3.7)	1 (20.0)	2 (25.0)
授業料が安いから	31 (16.8)	19 (25.0)	57 (32.6)	23 (42.6)	1 (20.0)	3 (37.5)
免許・資格等の合格実績・就職率が高いから	84 (45.7)	39 (51.3)	71 (40.6)	18 (33.3)	2 (40.0)	5 (62.5)
取りたい免許・資格があるから	75 (40.8)	36 (47.4)	51 (29.1)	19 (35.2)	3 (60.0)	2 (25.0)
自宅から通学できるから	86 (46.7)	49 (64.5)	113 (64.6)	31 (57.4)	3 (60.0)	3 (37.5)
その他	1 (0.5)	1 (1.3)	7 (4.0)	2 (3.7)	0 (0.0)	1 (12.5)
度数	184	76	175	54	5	8

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表 10 出身高等学校都道府県別にみた本学入学理由

	岡山県	香川県	広島県	その他の府県
学びたい学科内容があるから	245 (59.9)	35 (70.0)	9 (75.0)	25 (69.4)
清心ならではのキリスト教に基づいた教育が学べるから	35 (8.6)	3 (6.0)	0 (0.0)	3 (8.3)
リベラル・アーツ・カレッジだから	20 (4.9)	2 (4.0)	2 (16.7)	1 (2.8)
自分の将来に役に立ちそうだから	199 (48.7)	32 (64.0)	6 (50.0)	15 (41.7)
校風が合っているから	48 (11.7)	14 (28.0)	1 (8.3)	7 (19.4)
家族・親族から勧められたから	140 (34.2)	19 (38.0)	3 (25.0)	13 (36.1)
学校の先生に勧められたから	73 (17.8)	17 (34.0)	3 (25.0)	12 (33.3)
塾等の先生に勧められたから	10 (2.4)	5 (10.0)	1 (8.3)	3 (8.3)
授業料が安いから	117 (28.6)	11 (22.0)	2 (16.7)	6 (16.7)
免許・資格等の合格実績・就職率が高いから	183 (44.7)	19 (38.0)	6 (50.0)	13 (36.1)
取りたい免許・資格があるから	137 (33.5)	25 (50.0)	6 (50.0)	19 (52.8)
自宅から通学できるから	254 (62.1)	25 (50.0)	4 (33.3)	4 (11.1)
その他	9 (2.2)	1 (2.0)	0 (0.0)	2 (5.6)
度数	409	50	12	36

表 11 出身高等学校都道府県別にみた本学入学理由

	第一志望	第二志望	第三志望	その他
学びたい学科内容があるから	216 (73.7)	70 (51.9)	18 (37.5)	5 (33.3)
清心ならではのキリスト教に基づいた教育が学べるから	33 (11.3)	6 (4.4)	1 (2.1)	0 (0.0)
リベラル・アーツ・カレッジだから	18 (6.1)	6 (4.4)	0 (0.0)	0 (0.0)
自分の将来に役に立ちそうだから	181 (61.8)	59 (43.7)	7 (14.6)	1 (6.7)
校風が合っているから	53 (18.1)	13 (9.6)	2 (4.2)	1 (6.7)
家族・親族から勧められたから	97 (33.1)	53 (39.3)	16 (33.3)	4 (26.7)
学校の先生に勧められたから	70 (23.9)	21 (15.6)	6 (12.5)	2 (13.3)
塾等の先生に勧められたから	10 (3.4)	6 (4.4)	2 (4.2)	0 (0.0)
授業料が安いから	67 (22.9)	47 (34.8)	15 (31.3)	3 (20.0)
免許・資格等の合格実績・就職率が高いから	149 (50.9)	48 (35.6)	14 (29.2)	3 (20.0)
取りたい免許・資格があるから	124 (42.3)	44 (32.6)	10 (20.8)	3 (20.0)
自宅から通学できるから	153 (52.2)	91 (67.4)	28 (58.3)	9 (60.0)
その他	3 (1.0)	4 (3.0)	1 (2.1)	3 (20.0)
度数	293	135	48	15

大学卒業後の進路

表 12 学科別にみた大学卒業後の進路

	企業への就職	公務員	保育士・教員	起業	大学院への進学	留学	未定	その他	計
英語英文学科	43 (52.4)	9 (11.0)	7 (8.5)	0 (0.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	19 (23.2)	3 (3.7)	82 (100.0)
日本語日文学科	23 (33.8)	26 (38.2)	11 (16.2)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	8 (11.8)	0 (0.0)	68 (100.0)
現代社会学科	28 (36.8)	30 (39.5)	3 (3.9)	0 (0.0)	1 (1.3)	0 (0.0)	13 (17.1)	1 (1.3)	76 (100.0)
人間生活学科	39 (49.4)	12 (15.2)	4 (5.1)	1 (1.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	22 (27.8)	1 (1.3)	79 (100.0)
児童学科	5 (4.1)	7 (5.7)	101 (82.8)	0 (0.0)	3 (2.5)	1 (0.8)	4 (3.3)	1 (0.8)	122 (100.0)
食品栄養学科	43 (51.8)	5 (6.0)	1 (1.2)	0 (0.0)	2 (2.4)	0 (0.0)	20 (24.1)	12 (14.5)	83 (100.0)
計	181 (35.5)	89 (17.5)	127 (24.9)	1 (0.2)	7 (1.4)	1 (0.2)	86 (16.9)	18 (3.5)	510 (100.0)

p<0.01

表 13 入試形態別にみた大学卒業後の進路

	企業への就職	公務員	保育士・教員	起業	大学院への進学	留学	未定	その他	計
指定校推薦	63 (34.6)	22 (12.1)	47 (25.8)	1 (0.5)	3 (1.6)	0 (0.0)	39 (21.4)	7 (3.8)	182 (100.0)
公募制推薦	28 (36.4)	13 (16.9)	20 (26.0)	0 (0.0)	2 (2.6)	0 (0.0)	11 (14.3)	3 (3.9)	77 (100.0)
一般前期	73 (41.2)	37 (20.9)	40 (22.6)	0 (0.0)	1 (0.6)	0 (0.0)	22 (12.4)	4 (2.3)	177 (100.0)
一般後期	12 (22.2)	13 (24.1)	15 (27.8)	0 (0.0)	1 (1.9)	1 (1.9)	10 (18.5)	2 (3.7)	54 (100.0)
センター利用前期	1 (20.0)	2 (40.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (20.0)	1 (20.0)	5 (100.0)
センター利用後期	2 (25.0)	0 (0.0)	4 (50.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	1 (12.5)	1 (12.5)	8 (100.0)
計	179 (35.6)	87 (17.3)	126 (25.0)	1 (0.2)	7 (1.4)	1 (0.2)	84 (16.7)	18 (3.6)	503 (100.0)

n. s

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表 14 本学志望順位別にみた大学卒業後の進路

	企業への就職	公務員	保育士・教員	起業	大学院への進学	留学	未定	その他	計
岡山県	153 (37.1)	69 (16.7)	96 (23.3)	1 (0.2)	6 (1.5)	1 (0.2)	70 (17.0)	16 (3.9)	412 (100.0)
香川県	15 (30.0)	11 (22.0)	18 (36.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	6 (12.0)	0 (0.0)	50 (100.0)
広島県	5 (41.7)	1 (8.3)	3 (25.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	2 (16.7)	1 (8.3)	12 (100.0)
その他の府県	8 (22.9)	7 (20.0)	10 (28.6)	0 (0.0)	1 (2.9)	0 (0.0)	8 (22.9)	1 (2.9)	35 (100.0)
計	181 (35.6)	88 (17.3)	127 (25.0)	1 (0.2)	7 (1.4)	1 (0.2)	86 (16.9)	18 (3.5)	509 (100.0)

n. s

表 15 本学志望順位別にみた大学卒業後の進路

	企業への就職	公務員	保育士・教員	起業	大学院への進学	留学	未定	その他	計
第一志望	108 (37.0)	47 (16.1)	63 (21.6)	1 (0.3)	4 (1.4)	1 (0.3)	53 (18.2)	15 (5.1)	292 (100.0)
第二志望	40 (30.1)	28 (21.1)	39 (29.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	24 (18.0)	2 (1.5)	133 (100.0)
第三志望	20 (40.0)	9 (18.0)	15 (30.0)	0 (0.0)	1 (2.0)	0 (0.0)	4 (8.0)	1 (2.0)	50 (100.0)
その他	7 (46.7)	2 (13.3)	4 (26.7)	0 (0.0)	2 (13.3)	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	15 (100.0)
計	175 (35.7)	86 (17.6)	121 (24.7)	1 (0.2)	7 (1.4)	1 (0.2)	81 (16.5)	18 (3.7)	490 (100.0)

p<0.05

オープンキャンパスへの参加状況

表 16 学科別にみたオープンキャンパスの参加回数

	1回	2回	3回以上	参加しなかった	計
英語英文学科	31 (37.8)	11 (13.4)	17 (20.7)	23 (28.0)	82 (100.0)
日本語日本文学科	22 (31.4)	13 (18.6)	13 (18.6)	22 (31.4)	70 (100.0)
現代社会学科	23 (29.9)	12 (15.6)	18 (23.4)	24 (31.2)	77 (100.0)
人間生活学科	31 (39.2)	18 (22.8)	14 (17.7)	16 (20.3)	79 (100.0)
児童学科	48 (38.7)	25 (20.2)	19 (15.3)	32 (25.8)	124 (100.0)
食品栄養学科	31 (36.9)	17 (20.2)	22 (26.2)	14 (16.7)	84 (100.0)
計	186 (36.0)	96 (18.6)	103 (20.0)	131 (25.4)	516 (100.0)

n. s

表 17 入試形態別にみたオープンキャンパスの参加回数

	1回	2回	3回以上	参加しなかった	計
指定校推薦	66 (35.5)	58 (31.2)	57 (30.6)	5 (2.7)	186 (100.0)
公募制推薦	29 (37.2)	17 (21.8)	20 (25.6)	12 (15.4)	78 (100.0)
一般前期	70 (39.3)	11 (6.2)	16 (9.0)	81 (45.5)	178 (100.0)
一般後期	18 (33.3)	8 (14.8)	7 (13.0)	21 (38.9)	54 (100.0)
センター利用前期	0 (0.0)	0 (0.0)	0 (0.0)	5 (100.0)	5 (100.0)
センター利用後期	1 (12.5)	0 (0.0)	0 (0.0)	7 (87.5)	8 (100.0)
計	184 (36.1)	94 (18.5)	100 (19.6)	131 (25.7)	509 (100.0)

p<0.01

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表 18 出身高等学校都道府県別にみたオープンキャンパスの参加回数

	1回	2回	3回以上	参加しなかった	計
岡山県	139 (33.4)	77 (18.5)	97 (23.3)	103 (24.8)	416 (100.0)
香川県	22 (44.0)	12 (24.0)	4 (8.0)	12 (24.0)	50 (100.0)
広島県	8 (66.7)	1 (8.3)	0 (0.0)	3 (25.0)	12 (100.0)
その他の府県	17 (47.2)	5 (13.9)	2 (5.6)	12 (33.3)	36 (100.0)
計	186 (36.2)	95 (18.5)	103 (20.0)	130 (25.3)	514 (100.0)

p<0.01

表 19 本学志望順位別にみたオープンキャンパスの参加回数

	1回	2回	3回以上	参加しなかった	計
第一志望	111 (37.5)	75 (25.3)	86 (29.1)	24 (8.1)	296 (100.0)
第二志望	49 (36.3)	14 (10.4)	11 (8.1)	61 (45.2)	135 (100.0)
第三志望	13 (26.0)	4 (8.0)	4 (8.0)	29 (58.0)	50 (100.0)
その他	4 (26.7)	1 (6.7)	0 (0.0)	10 (66.7)	15 (100.0)
計	177 (35.7)	94 (19.0)	101 (20.4)	124 (25.0)	496 (100.0)

p<0.01

表 20 学科別にみたオープンキャンパスの不参加理由

	英語英文学科	日本語日本文学科	現代社会学科	人間生活学科	児童学科	食品栄養学科
日程が合わなかったため	15 (68.2)	14 (70.0)	13 (61.9)	6 (40.0)	22 (66.7)	5 (38.5)
興味のあるプログラムがなかったため	1 (4.5)	2 (10.0)	4 (19.0)	4 (26.7)	2 (6.1)	5 (38.5)
遠くて時間がかかるため	0 (0.0)	2 (10.0)	0 (0.0)	1 (6.7)	0 (0.0)	1 (7.7)
遠くて交通費がかかるため	0 (0.0)	2 (10.0)	0 (0.0)	2 (13.3)	2 (6.1)	1 (7.7)
他にオープンキャンパスに行きたい大学が多かったため	8 (36.4)	3 (15.0)	2 (9.5)	1 (6.7)	2 (6.1)	2 (15.4)
その他	3 (13.6)	4 (20.0)	3 (14.3)	4 (26.7)	9 (27.3)	0 (0.0)
度数	22	20	21	15	33	13

表 21 入試形態別にみたオープンキャンパスの不参加理由

	指定校推薦	公募制推薦	一般前期	一般後期	センター前期	センター後期
日程が合わなかったため	4 (66.7)	8 (66.7)	48 (63.2)	10 (52.6)	3 (75.0)	2 (28.6)
興味のあるプログラムがなかったため	0 (0.0)	0 (0.0)	12 (15.8)	3 (15.8)	2 (50.0)	1 (14.3)
遠くて時間がかかるため	1 (16.7)	1 (8.3)	1 (1.3)	0 (0.0)	1 (25.0)	0 (0.0)
遠くて交通費がかかるため	1 (16.7)	1 (8.3)	2 (2.6)	2 (10.5)	1 (25.0)	0 (0.0)
他にオープンキャンパスに行きたい大学が多かったため	2 (33.3)	1 (8.3)	12 (15.8)	1 (5.3)	1 (25.0)	1 (14.3)
その他	0 (0.0)	3 (25.0)	10 (13.2)	7 (36.8)	0 (0.0)	3 (42.9)
度数	6	12	76	19	4	7

註) 指定校推薦には、姉妹校推薦・カトリック校推薦を含む。

表 22 出身高等学校都道府県別にみたオープンキャンパスの不参加理由

	岡山県	香川県	広島県	その他の府県
日程が合わなかったため	61 (62.9)	8 (66.7)	1 (33.3)	5 (45.5)
興味のあるプログラムがなかったため	13 (13.4)	3 (25.0)	1 (33.3)	0 (0.0)
遠くて時間がかかるため	0 (0.0)	1 (8.3)	1 (33.3)	2 (18.2)
遠くて交通費がかかるため	0 (0.0)	3 (25.0)	1 (33.3)	3 (27.3)
他にオープンキャンパスに行きたい大学が多かったため	17 (17.5)	1 (8.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
その他	15 (15.5)	2 (16.7)	0 (0.0)	5 (45.5)
度数	97	12	3	11

表 23 本学志望順位別にみたオープンキャンパスの不参加理由

	第一志望	第二志望	第三志望	その他
日程が合わなかったため	17 (70.8)	38 (66.7)	13 (46.4)	2 (22.2)
興味のあるプログラムがなかったため	2 (8.3)	8 (14.0)	6 (21.4)	2 (22.2)
遠くて時間がかかるため	2 (8.3)	2 (3.5)	0 (0.0)	0 (0.0)
遠くて交通費がかかるため	4 (16.7)	3 (5.3)	0 (0.0)	0 (0.0)
他にオープンキャンパスに行きたい大学が多かったため	4 (16.7)	6 (10.5)	7 (25.0)	1 (11.1)
その他	1 (4.2)	10 (17.5)	6 (21.4)	5 (55.6)
度数	24	57	28	9